



せせら 通信



だいごう
第6号



わたらせ 川のふれあい館「せせら」ってどんなところ？

「せせら」では、渡良瀬川の治水や砂防、川にまつわる歴史や自然、渡良瀬川の周りにすむいろいろな生きものや、植物などについて、楽しく調べたり、学んだりするための施設です。

こんかい しょうかい
今回の小学校紹介コーナー
けやき小学校★北郷小学校

みんなで渡良瀬川にサケを放流しよう！

どうして一斉に放流するのでしょうか？

自然界には稚魚を狙う敵がたくさんいます。稚魚は仲間といっしょにいる方が狙われにくいので、たくさんの仲間と川を下ることができるように、せせらでは一斉放流をしています。

今年のせせらの一斉放流会は2月23日（日）の予定です。稚魚を育てていないお友だちも、せせらで育てた稚魚を放流できるので、事前にせせらへ申込みをして参加してくださいね。



きょねん
去年の一斉放流会のようす

みんなと
いっしょがいいね！



あし かが 足利キッズ あつ 集まれ

あし かが し りつ 足利市立けやき小学校

けやき小学校は、平成 12 年にできた新しい小学校のうちの 1 校です。
学校は足利市役所の隣にあって、学区内には日本で一番古い学校の足利学校や、平成 25 年に国宝になった鰻阿寺があります。



みんな真剣に聞いています

けやき小では、毎年プールを掃除する前に、4 年生の総合学習の環境の授業で「ヤゴ救出大作戦」を行います。生きものがすみやすい環境についての話を聞いたあと、水を抜いたプールに入ります。カルキの抜けたプールの水は生きものにとってすごしやすく、300 匹以上のヤゴなどが見つかりました。初めはプールの底の泥やヤゴのことが気持ち悪かった子どもたちも、すぐに慣れて平気で泥の中に手を入れてヤゴを捕まえます。



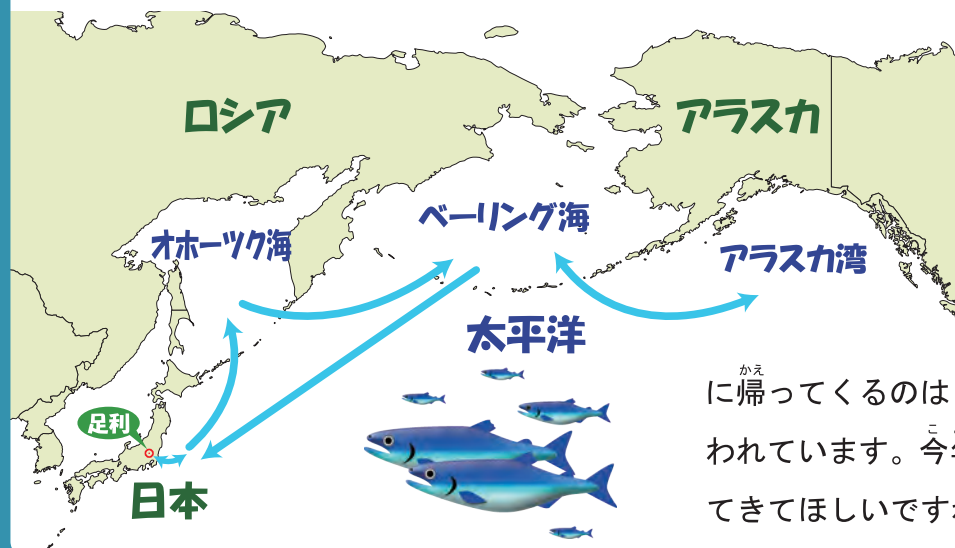
プールに入って救出作戦開始！

このときはシオカラトンボ・アキアカネ・イトトンボなどのヤゴを救出しました。このヤゴは学校の水槽やペットボトルで育てます。お家にもって帰って育てたお友だちもいました。1 か月くらいするとトンボになって飛び立っていきました。みんな学校のプールで、自然のヤゴが育っていたことにびっくりしました。来年もやりたいと言ってるそうです。

なが たび サケの長～い旅

12 月 8 日に行われた「サケの受精卵の配布会」には、せせら通信を読んでいるお友だちも、大勢参加してくれました。学校やお家のサケの赤ちゃんは元気に育ってますか？

渡良瀬川に放流したサケの赤ちゃんは川を下り、太平洋を北へ泳いで北海道を越えてオホーツク海まで行き、ベーリング海からアラスカ湾を数年間行ったり来たりします。日本からどのくらい離れているのか想像できますか？



そして 3～4 年後、育った川で卵を産んで子孫を残すために、日本へ最後の旅をします。渡良瀬川でも今では毎年放流したサケが、元気に川を上ってくるようすが見られます。でも、無事に

に帰ってくるのは 1000 匹のうち 1～3 匹程度とも言われています。今年放流する赤ちゃんも頑張ってる帰ってきてほしいですね。

～! 市内の小学校紹介コーナー

足利市立北郷小学校

北郷小学校は、足利の北よりにある学区で、近くには名草川、田島川、袋川が流れています。北関東自動車道の南側は広い住宅地で、1学年に3クラスある児童数 570 人の小学校です。

5年生の総合学習では、袋川近くの田んぼで米作りをしました。ホウネンエビやサワガニ、秋にはアカトンボやバッタ、カマキリなど、田んぼには生きものがたくさんいました。ため池から流れてくるきれいな水は、おいしい北郷米や生きものを育てていることを知り、



6月に田植えをする5年生

環境について関心をもつきっかけになりました。

北小の縦割り班活動は、「レッツ5（ゴー）」といいます。5のつく日の昼休みに、上級生が下級生を教室へ迎えに行き、班でゲームやボール遊びをします。秋の運動会では、班の小さな輪が最後に大きな3つの輪になる「レッツ5ダンス」を披露するので、その練習もします。いつも世話をしてもらっている1年生も、秋の頃にはすっかりお兄さんお姉さんです。近くの保育園の園児を招いた秋祭りで、木の実や落ち葉でアクセサリーを作ったり、お店を出しておもてなしをしました。



運動会のレッツ5ダンス



黄色い帽子の園児をもてなす1年生

今回はこの2校だよ!

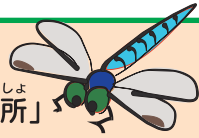


現在せせらでは、

2013年の11月に渡良瀬川の鹿島橋の近くで撮影したサケの産卵シーンを上映しています。

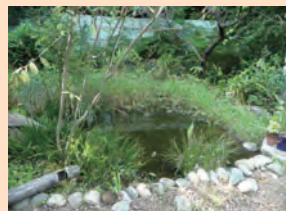
このサケたちも数年前に渡良瀬川から旅立った数センチの赤ちゃんだったんだよ!





「ビオトープ」という言葉を聞いたことがありますか？ビオトープとは「自然の生きものが暮らす場所」という意味です。野生の生きものが暮らす川や池や山はみんなビオトープです。人間が街を整備することで野生の生きものが少なくなっていました。そこで、学校や町などが野生の生きもののために作った場所もビオトープといいます。ヤゴが見つかったけやき小のプールも、プールを使わない期間はヤゴたちにとってビオトープの役割をはたしていました。

ヤゴ救出大作戦を指導されている徳正寺（足利市本城3丁目2090）の住職は、お寺にビオトープを作られたそうです。見たい人は、声をかけて見せていただけます。



徳正寺のビオトープ
(写真提供：徳正寺様)

「せせら」の中をのぞいてみよう！



わたらせんでもボード

わたらせ川を中心とした歴史を、年表と写真でわかりやすく説明しています。

わたらせ生物観察ファイル

わたらせ川とそのまわりにくらす、さまざまな生きものを紹介しています。

わたらせピンナップシアター

わたらせ川のことがよくわかる映画を、タッチパネルで自由に選んで見てみよう。

水とくらしのギャラリー

「堤防」や「砂防ダム」が、どのように役立っているのかを紹介しています。

わたらせ情報パレット

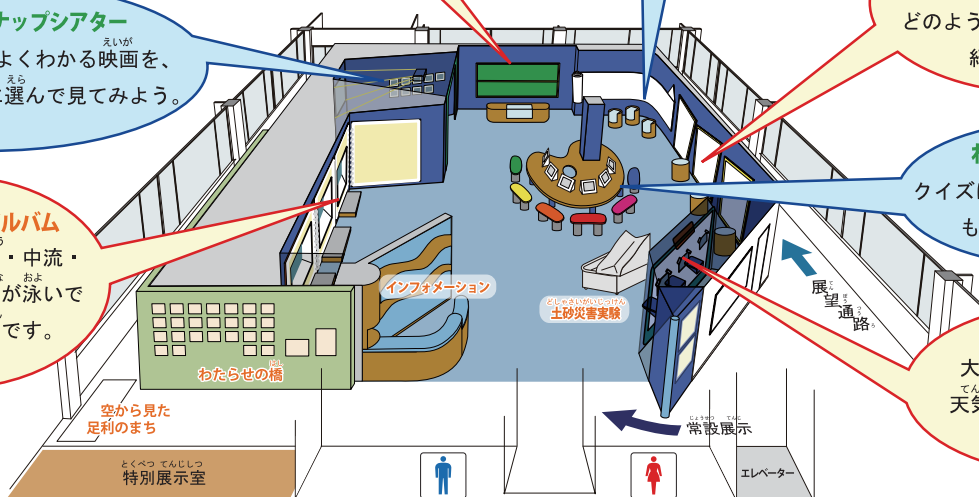
クイズに挑戦して、わたらせ川のものしり博士になろう。

わたらせ淡水魚アルバム

わたらせ川の上流・中流・下流の代表的な魚が泳いでいる、ミニ水族館です。

わたらせレポート

大雨が降ったときの水位や天気図がどうなっているのか説明しています。



いつ開いているの？

わたらせ 川のふれあい館「せせら」
(渡良瀬グリーンプラザ3階)

〒326-0822 栃木県足利市岩井町 465-1
TEL & FAX 0284-44-3001

開館時間

4～6月及び9～3月の平日 13:00～16:00

4～6月及び9～3月の休日(土日祝) 10:30～16:00

7～8月 平日・休日ともに 9:30～16:45

休館日 毎週月・木曜日(祝日の場合はその翌日)

※7～8月の休館は木曜日のみ

年末年始(12/29～1/3)

入館料 無料

※館内は飲食禁止・禁煙です。食事と喫煙は所定の場所をお願いします。
※ペットを連れての入館はご遠慮ください。

せせらの地図



最寄り駅 JR両毛線 足利駅より徒歩 20 分
東武伊勢崎線 足利市駅より徒歩 25 分
自動車 東北自動車道 佐野藤岡 IC より 35 分
北関東自動車道 足利 IC より 15 分

「せせら」についての情報はホームページでもご覧いただけます。 http://www.ktr.mlit.go.jp/watarase/watarase_sesera10.html

発行 国土交通省 渡良瀬川河川事務所 調査課 〒326-0822 栃木県足利市田中町 661-3 TEL.0284-73-5558
平成 26 年 2 月 発行